

平成 21 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 3,814,833 円

1. 外国人の受入れ拡大事業 3,158,880 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域との交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

平成 21 年度は、国際理解講座の海外版として「中国東北地方体験ツアー」を実施した。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

○国際理解講座海外版「中国東北地方体験ツアー」

毎年行っている国際理解講座の一環として、一般県民から参加者を募り、中国黒龍江省ハルビン市への体験ツアーを実施した。

- ・期 間：9月13日（日）～9月16日（水）
- ・見学内容：黒龍江省博物館、完達山乳業、金上京歴史博物館、太陽島等
- ・参加人数：14名

○黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業
(県委託事業)



黒龍江省博物館見学

②モンゴルとの技術交流事業

急速な都市化と自動車交通の増大が進んでいるモンゴル・ウランバートル市において、渋滞や交通事故などが問題となっているため、新潟県の有する（雨水排水を含む）道路改良・維持管理技術をもって都市整備の向上に寄与することを目的に、NPO 団体等を構成員とする実行委員会を構成し、モンゴル現地への専門家派遣及び技術者の受入・研修等を実施した。

- ・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会
新潟県知事政策局国際課・土木部都市整備課
(財)環日本海経済研究所、(財)新潟県国際交流協会
- ・新潟県側の専門家派遣（9月21日（月）～9月27日（日））
- ・ウランバートルからの技術者招聘（11月15日（日）～11月23日（月））

(2) 留学生就職支援フォーラム

留学生と地元企業との関わりを強め、双方にとって望ましい関係のあり方について探るため、平成 19・20 年度に引き続き、留学生の県内就職問題を中心に、現状の問題点や今後の改善に向けての具体的な方策を考えるフォーラムを開催した。

- ・期日及び会場：10月25日（日）
朱鷺メッセ中会議室301・302
- ・主催：（財）新潟県国際交流協会
新潟地域留学生等交流推進会議
にいがたインターンシップ推進協議会
- ・共催：新潟県、日本貿易振興機構新潟貿易
情報センター、（特活）産学連携教育日
本フォーラム
- ・協力：（財）環日本海経済研究所、（社）新潟県商工会議所連合会、（社）
新潟県経営者協会、新潟経済同友会
- ・参加者：県内企業（11社）、大学（6校）、留学生（21名）など75名
- ・構成：第1部：留学生就職指南セミナー
「ビジネス日本語講座」
【講師】新潟大学国際センター長 阿波村 稔 氏
准教授 足立 祐子 氏
「日本で就職を行うにあたっての作法や留意点について」
【講師】新潟大学就職課長 多田 夏子 氏
「企業が求める人材とスキルについて」
【講師】株式会社シアンス代表取締役社長 野口 一則 氏
- 第2部：企業向けガイダンス
「企業における留学生の採用と活用について」
【講師】パール金属株式会社総務人事部長 金川 寿泰 氏
株式会社ニガタソフコ常務取締役 小野 光則 氏
- 第3部：意見交換「留学生の県内企業就職促進について」
【コーディネーター】
にいがたインターンシップ推進協議会専務理事 湧井 正剛 氏
【助言者】
第1部、第2部講師
留学生 ペニー ロー ヤン イー 氏（新潟大学人文学部3年生）
留学生OB 于 光遠 氏
（東洋電子工業株式会社システム開発センター勤務）



第3部意見交換

2. アジアを知る事業 554,207円

（1）国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学などの協力を得ながら、一般県民向けの講座を県内5地区、全12回開催した。

○新潟市（朱鷺メッセ 小会議室 14:00～15:30）

- ①「モンゴル・ウランバートルの都市と暮らし」 新潟大学准教授 櫛谷 圭司 氏
期日：8月30日（日） 参加者数：38名

- ②「ロシアの国立公園と環境保護について－極東を中心に」
新潟大学・新潟県立大学・新潟青陵大学非常勤講師 中谷 昌弘 氏
期間：9月6日（日） 参加者数：20名

- ③「黒龍江と近代日本」
新潟国際情報大学准教授 小林 元裕 氏
期日：9月27日（日） 参加者数：27名

- 三条市（県央地域地場産業振興センター
リサーチコア 19：30～21：00）

- ①「中国の社会経済を深く知ろう」
企業コンサルタント・新潟経営大学客員教授 王 裕晋 氏
期日：9月30日（水） 参加者数：24名

- ②「最新ロシア事情」 新潟経営大学教授 ツェリッシュェフ・イワン 氏
期日：10月21日（水） 参加者数：17名

- ③「グローバル経済の中での関越経済圏の活性化」
新潟経営大学長 蛭名 保彦 氏
期日：11月11日（水） 参加者数：16名

- 長岡市（ながおか市民センター 14：00～15：30）

- ①「白黒がはっきりしないと困ってしまう韓国社会、その近年の変貌」
長岡大学准教授 権 五景 氏
期日：11月21日（日） 参加者数：36名

- 南魚沼市（国際大学松下図書情報センター 18：30～20：00）

- ①「東アジアの国際関係史 アヘン戦争から太平洋戦争まで」
国際大学研究所教授 信田 智人 氏
期日：9月4日（金） 参加者数：51名

- ②「東アジアの国際関係史」 国際大学研究所教授 信田 智人 氏
期日：9月11日（金） 参加者数：50名

- 上越市（上越市市民プラザ 13：30～15：00）

- ①「現代ロシア事情－極東ロシアを中心に－」
上越教育大学大学院准教授 下里 俊行 氏
期日：10月3日（土） 参加者数：25名

- ②「日中文化の相違について－中国の最新事情」
上越教育大学大学院教授 黎 子椰 氏
期日：10月10日（土） 参加者数：36名

- ③「韓国社会の現状－日本との比較を中心に－」
上越教育大学大学院教授 釜田 聡 氏
期日：10月17日（土） 参加者数：25名



（2）高等学校等海外修学・研修旅行説明会

県内の公立・私立高校や専門学校の校長等を対象に、県が重点的に交流を進め

ている北東アジア地域を中心とした修学旅行説明会を開催した。

- ・期日及び会場：2月18日（木） 新潟県自治会館別館
- ・参加者：高等学校（20校）、韓国観光公社、中国国家観光局、グアム政府観光局、コンチネンタル航空等38名

3. 受け皿整備事業 101,746円

（1）ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実施団体との意見交換会、ホストファミリー実践講座及びホームステイを実施した。

①初心者向けホストファミリー実践講座

ア 上越会場

- ・期日及び会場：11月3日（火・祝） 上越市市民プラザ
- ・参加者：4家庭

イ 長岡会場

- ・期日及び会場：10月4日（日） ながおか市民センター
- ・参加者：4家庭

ウ 新潟会場

- ・期日及び会場：11月1日（日） 新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：7家庭

②ホームステイ実施

語学指導助手（ALT）7人を対象にホームステイを実施

- ・期日：11月28日（土）・29（日）
- ・参加者：7家庭

II 国際協力活動の支援 6,119,884円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金 6,119,884円

（1）支援助成（参考資料P1参照）

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内NGO又は個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

- ・助成実績：8件（申請8件）
5,265,000円



ミャンマー 移動式浄水器の支援

(2) 基金運営

① 審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。(委員：7名)

- ・期日：12月16日(水)
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室

② 募金活動(参考資料P2参照)

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③ 募金実績

(単位：円)

	18年度	19年度	20年度	21年度
募金額	281,656	341,117	176,579	244,167
累計	13,885,749	14,226,866	14,403,445	14,647,612

Ⅲ 多文化共生の支援 5,405,934円

5. 国際理解推進事業 3,032,526円

(1) プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動など、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行った。

ア プレゼンテーションコンテスト

- ・参加団体：「中学生部門」7チーム、
「高校生部門」11チーム

- ・期日：12月19日(土)
- ・会場：朱鷺メッセ
- ・最優秀賞：

〈中学生部門〉CHALLENGER(小千谷市立小千谷中学校)

テーマ：「小千谷市在住の外国人のための標識プロジェクト」

〈高校生部門〉県立新潟工業高等学校ボランティア同好会

テーマ：「少しの思いやりでたくさんの笑顔に出会える！」



イ スタディツアーの実施

最優秀賞チーム(小千谷中学校3名、新潟工業高等学校3名 計6名)をロシア・スタディツアーに派遣した。

- ・派遣期間：3月19日(金)～3月22日(月・祝)
- ・派遣先：ロシア・ハバロフスク市

- ・活動内容：ハバロフスク市内見学、「環境保護子供芸術センター」・ダンスアンサンブル「ラードスチ」の子供たちとの交流、ホームビジット、ロシア正教会・郷土史博物館見学など

(2) 県民向け情報誌の発行

- ・発行時期：7月（第6号）、1月（第7号）
- ・配付先：県内の高校等133校、大学等25校、図書館、市町村・団体等計15,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

小・中・高・大学生及び教員を対象とする全県的な事業を推進するため、行政や関係機関等から成る推進協議会を開催した。

- ・期日及び会場：11月9日（月） 万代島ビル6階会議室
- ・参加者：16名
- ・議題：平成20年度事業実績報告、21年度事業中間報告、22年度事業計画

6. 在住外国人支援事業 2,045,115円

地域住民の一人として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び日本語教室を実施した。

(1) 相談事業（新潟ヘルプの会へ委託）

○相談実績（参考資料P4参照）

- ・対応言語：5カ国語（英語、中国語、タガログ語、タイ語、インドネシア語）
- ・相談件数：延べ630件（窓口相談51件、電話相談579件）
- ・相談内容：在留手続き、福祉・DV、結婚・離婚など

○情報・意見交換会

- ・期日：7月13日（月）
- ・会場：佐渡市役所3階大会議室
- ・テーマ：外国人相談についての意見交換会
- ・講師：横山陽子氏（新潟ヘルプの会代表）
阿部ジュリア氏（タガログ語・英語生活相談員）
小嶋アムナ氏（インドネシア語生活相談員）
- ・参加者：佐渡市職員、外国人児童生徒学習支援などの民間団体等22人

(2) 日本語教室

①外国籍親子日本語教室事業

外国人住民の増加に伴い必要性が増してきている地域の日本語教育をサポートする講座等を実施した。

- ・委託先：Snow Flakes Club
- ・事業内容：外国籍親子の日本語支援、日本語教室開設等の地盤作りに関する

ワークショップの実施

- ・期日及び会場：8／8、8／29、9／19、10／24、11／21、12／5、1／16、3／13 いずれも土曜日 14：00～15：30
国際大学 202 教室
- ・参加者：各回 10～15 名程度

②日本語ボランティア育成事業

日本語ボランティアの養成及び能力の向上等を目的とする研修等を、民間団体に委託して実施した。

ア 新発田日本語教室

- ・期日：8／9、8／23、9／13、9／27、10／4、10／18、11／1、11／15、11／29、12／6 いずれも日曜日 10：00～12：00
- ・会場：新発田市地域交流センター、新発田市生涯学習センター
- ・講師：大沼 志津子 氏・伊藤 和美 氏（新発田市日本語学習指導員）
佐々木 香織 氏（新潟国際情報大学講師）
松尾 恭子 氏（AJALT(社)日本語普及会所属日本語講師）
高橋 紀子 氏（新発田日本語教室代表）

イ 佐渡国際交流ネットワーク協議会

- ・期日：9月12日（土）、10月3日（土） 9：30～15：30
12月13日（日） 13：30～17：00
- ・会場：佐渡中央会館
- ・講師：川室 京子 氏（(社)上越国際交流協会理事長）

7. 留学生支援事業 328,293 円

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する次の支援を行った。

(1) 留学生による調査研究の募集

新潟県と海外との交流促進をテーマとして、高い学識と外国人の視点をもって調査研究を行う留学生（グループ）を募集し、内容の優れたものに対して報奨金を交付するとともに、提出された調査研究レポートを関係団体に配付した。

- ・募集期間：5月1日（金）～6月30日（火）
- ・応募総数：2件
- ・7月28日（火）に有識者による審査会を開催し、下記2名の調査研究を採用した。
 - ①王 頴 氏（兵庫教育大学大学院連合学校・上越教育大学大学院）
「新潟県と中国黒龍江省の特別支援学校の実態調査と交流促進」
 - ②白 潔 氏（新潟大学大学院）
「新潟県の公害病対策と中国の公害病対策の比較・検討－新潟水俣病と中国の「がん村」を中心に－」

(2) 留学生講師活用事業

留学生の能力活用と国際理解を推進するために、国際理解講座等の講師として留学生の活用を希望する市町村や学校、民間団体等に助成を行った。

助成件数：2件

(3) 国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師として、自国の文化、歴史、自然等を小・中・高校生に紹介した。

・講座実施数 8回

(小：4回、中：3回、高：1回)



韓国をテーマにしたプラザ講座

(4) 県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、アジア地域からの私費留学生に対する奨学金給付と大学院が行う留学生募集活動に対する助成を行う新規事業を立ち上げた。

平成21年度は交付要綱等を作成し、22年度事業の募集を行った。

Ⅳの1 基盤強化（民間活動活発化） 7,805,634円

8. 民間団体助成事業 3,669,600円

(1) 国際化推進活動支援助成金の交付（参考資料P6参照）

市町村及び民間団体が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため助成金を交付した。

・助成実績：市町村3団体（申請3団体）、民間団体27団体（申請31団体、うち助成決定後中止4団体） 3,637,200円

・事業例：日本語教室、国際映画祭、在住外国人・海外との交流事業等

(2) 研修室の貸出

民間団体の活動促進のため国際交流プラザ研修室の貸出しを行った。

・利用時間：平日、土日・祝日とも9時～21時

・利用件数：58件（21年4月～22年3月）

9. 民間団体ネットワーク構築事業 1,264,232円

平成19・20年度に実施した下越・中越・上越地区共生会議の取組やネットワークを生かし、平成21年度は全県にわたって外国籍住民支援のための事業を展開した。

(1) ネットワークを活用した生活相談事業

①地域連絡会議の実施

ア 上越地区（委託先：(社)上越国際交流協会）

- ・テーマ：出入国管理及び難民認定法の一部改正について
 - ・期 日：9月4日（金）
 - ・会 場：上越市市民プラザ2階 第4会議室
 - ・講 師：東京入国管理局総務課長補佐 平河 祐治 氏
 - ・参加者：市町村地域国際交流協会、日本語教室、大学関係者等 25 名
-
- ・テーマ：多文化共生・元気出していこう！
 - ・期 日：11月13日（金）
 - ・会 場：上越市市民プラザ2階 第4会議室
 - ・講 師：東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
プログラムコーディネーター 杉澤 経子 氏
 - ・参加者：市町村地域国際交流協会、日本語教室、大学関係者等 29 名

イ 中越地区共生会議（委託先：長岡市）

- ・テーマ：世界から来たおかあちゃんによる井戸端会議 in ながおか
- ・期 日：1月24日（日）
- ・会 場：ながおか市民センター 202・203 会議室
- ・講 師：(財)庄内国際交流協会副会長 山口 考子 氏
- ・パネリスト：新潟県在住の外国出身等花嫁 5名
- ・進行役：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
- ・参加者：外国籍住民、外国人支援団体、長岡市民等 35 名

ウ 下越地区共生会議（新潟県国際交流協会実施）

- ・テーマ：外国籍住民の支援について
- ・期 日：11月1日（日）
- ・会 場：万代島ビル6階 会議室
- ・講 師：MIC かながわ理事長 鶴田 光子 氏
- ・参加者：市町村地域国際交流協会、日本語教室、大学生等 31 名



長岡市での井戸端会議

②専門機関との連携

ア 相談関係機関連絡会議

- ・期日及び会場：11月13日（金） 万代島ビル6階 会議室
- ・参加者：県弁護士会、県行政書士会、県社会保険労務士会、新潟労働局労働基準部監督課・職業安定部職業対策課、東京出入国管理局新潟出張所、日本司法センター新潟地方事務所、県中央福祉相談センター、市町村地域国際交流協会、新潟ヘルプの会等 17 名

イ 行政書士による外国人無料相談会

- ・期日及び会場：10月17日（土） 新潟市北区役所
- ・主催：新潟県行政書士会新潟支部、(財)新潟県国際交流協会
- ・後援：新潟市、(財)新潟市国際交流協会
- ・相談件数：12件（中国、インドネシア出身者など）

ウ 外国人のための行政書士による在留資格・行政手続きについての無料相談会

- ・期日及び会場：平成22年2月13日（土）
新潟県行政書士会館
- ・主催：新潟県行政書士会
(財)新潟県国際交流協会
- ・相談件数：11件（フィリピン、ロシア、ニュージーランド出身者など）



行政書士会館 無料相談会

エ 県中央福祉相談センターと県内多言語生活相談窓口との意見・情報交換

- ・期日及び会場：2月15日（月） 新潟県中央福祉相談センター
- ・参加者：県中央福祉相談センター、長岡市国際交流センター、(財)柏崎地域国際化協会職員等9名

③多文化共生リーダー交流会議

- ・期日及び会場：12月12日（土） 朱鷺メッセ小会議室
- ・内 容：第一部 講演「真の国際化とは」
講師 のしろ日本語学習会 代表 北川 裕子 氏
第二部 意見・情報交換
テーマ「国際交流団体の運営・人材育成等について」
- ・参加者：国際交流・外国人支援団体の若手リーダー等31名

(2) 外国籍児童生徒・保護者等を対象にした進学等に関する地域懇談会

上・中・下越地区において、市町村地域国際交流協会と連携し、地域懇談会を実施した。地域懇談会等で使用した多言語による学校説明資料（英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ロシア語、日本語）は、県教育委員会の協力のもと、当協会で作成した。

①上越地区

- 「日本語を母語としない子どもと保護者のための進学等に関する地域懇談会」
- ・期日及び会場：8月1日（土） 上越市市民プラザ

- ・主 催：(社)上越国際交流協会
(財)新潟県国際交流協会
- ・共 催：上越市教育委員会
- ・参加者：ペルー、中国、フィリピン出身者の
家族など 32 名



上越地区：地域懇談会

②中越地区「日本語を母語としない子どもと保護者のための進学等に関する地域懇談会」

- ・期日及び会場：8月22日（土） 長岡市内・柏崎市市民プラザ
- ・主 催：(財)柏崎地域国際化協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・共 催：長岡市
- ・参加者：中国、インドネシア、ブラジル出身者の家族など 29 名

③下越地区「日本の学校を知ろう！」セミナー

- ・期日及び会場：11月7日（土） クロスパスにいがた
- ・主 催：(財)新潟市国際交流協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・後 援：新潟市・新発田市・五泉市教育委員会、新潟市
- ・参加者：中国、フィリピン、ロシア、タイ出身者の家族など 35 名

(3) 初期受入支援（委託先：(社)上越国際交流協会）

日本語を母語としない児童生徒が学校に入学した際に、指さしなどで簡単な会話を行うことができるような学校用語集を8言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語）で作成した。

10. 在外県人会活動支援 2,871,802円

ブラジル、ホノルル、アルゼンチンの各新潟県人会に対して、現地での活動を支援するため助成金を交付した。

また、平成21年度は「トキめき新潟国体」への海外県人会の参加経費についても助成を行うとともに、ホノルル県人会創立100周年記念式典に参加した。

団 体 名	助成額（円）
ブラジル県人会	460,000
ホノルル県人会	165,000
アルゼンチン県人会	92,000
新潟県海外移住協会	100,000
合 計	817,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 2,807,603 円

11. 人材育成 2,807,603 円

民間団体等の人材の育成と次世代を担う若者の国際理解を深めていくための支援を行った。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象に、研修等を実施した。

- ・期日及び会場：2月11日（木・祝） クロスパルにいがた
- ・テーマ：「自分がしたいこと」ではなく「社会に求められること」のために、動き続けるチームをつくる！
- ・講師：人と組織と地球のための国際研究所 代表 川北 秀人 氏
- ・参加者：県・市町村、NGO 団体等 31 名



NGO スタッフ研修

（2）ボランティアバンクの運営

ボランティアレベル・活動歴等の把握を通して、適材適所にボランティアを活用するなど、協会の調整機能を向上させるとともに、研修事業の充実など、ボランティアバンクの更なる活性化をはかった。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 187 名
（英語：136 名、韓国語：23 名、中国語：28 名、ロシア語：7 名、タイ語：5 名、タガログ語：3 名、その他：22 名）
- ・アースサポーター登録者数 54 名
- ・イベント等への延べ紹介数 51 名

②語学講座

新潟県国際交流協会研修室を利用して、通訳・翻訳ボランティアを対象とする、英語、韓国語、中国語の講座を実施した。

- ・英語：7月11日（土）・16日（木）、2月20日（土）延べ参加者 19 名
- ・韓国語：2月27日（土）参加者 7 名
- ・中国語：2月27日（土）参加者 3 名

（3）大学生リーダー育成：国際交流インストラクター養成事業

（新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学連携事業）

大学生（87 名、情報大：44、敬和大：28、新潟県立大：15）をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるためのワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内小・中・高等学校 24 校（小：17、中：2、高：5）・2 施設
- ・テーマ：「世界の現実」「世界の不平等」「異文化理解」

(4) 相談・通訳員育成

多言語の生活相談・通訳員（特に少数言語）を新たに発掘・育成する研修等を実績のある民間団体に委託して実施した。

- ・委託先：(社)上越国際交流協会、新潟ヘルプの会
- ・発掘・育成人材：インドネシア語2名、タガログ語3名、タイ語2名、ポルトガル語1名、ベンガル語1名、中国語1名

(5) 医療支援事業

平成20年度に行った外国籍住民等医療状況調査に基づき、医療関係機関から要望の多かった多言語ツール「多言語版医療窓口対応シート」（英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、やさしい日本語）を作成し、県内病院等に配布した。

また、医療関係者・通訳ボランティア・民間団体等を対象にした医療支援事業勉強会を開催した。

○医療支援事業勉強会

- ・期日及び会場：1月23日（土） 万代島ビル6階 会議室
- ・テーマ及び講師：
「外国籍住民に対する医療支援の必要性と現状の問題点について」
多文化共生センターひょうご 代表 北村 広美 氏
「富山県済生会富山病院における医療通訳ボランティア制度について」
富山県済生会富山病院総務課 大浜 崇 氏
- ・参加者：28名

(6) 災害時通訳ボランティア育成事業

外国語ができる日本人または日本語ができる外国人の中から、災害時に通訳ボランティアとして被災地の外国籍住民等を支援できる人材を育成するための研修を、新潟市と南魚沼市（国際大学）で実施した。

新潟市で開催した第2・3回の研修は、市町村職員等を対象とした「災害時多言語支援研修」と合同で行った。

①新潟市

- ・期日及び会場：第1回 10月3日（土） 朱鷺メッセ
第2・3回 10月31日（土） クロスパルにいがた
- ・内容：第1回 オリエンテーション
災害時通訳ボランティアに求められる心得、通訳基礎
第2回 実践講義
第3回 合同シミュレーション(避難所巡回)、ふり返り
- ・講師：(財)柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏
- ・参加者：県・市町村国際交流協会の通訳ボランティア、留学生、CIR等
第1回 34名、第2・3回 24名



避難所での巡回訓練

②南魚沼市（国際大学）

- ・期日及び会場：1月17日（日） 国際大学
- ・内容：導入講義、実践講義、留学生等を対象にした避難訓練での実践
- ・講師：(財)柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏
- ・参加者：通訳ボランティア 19名、留学生 157名

(7) 災害時支援事業

災害時に外国籍住民等を支援する人材を育成するために、市町村職員・NGO等を対象にし、新潟市で震度7の地震が発生したという想定のもと、災害多言語支援センターの設置・運営にかかる研修を実施した。また、災害時の外国人支援体制を構築するために、県や市町村をメンバーとした構築検討会を開催した。

①災害時多言語支援研修

- ・期日及び会場：10月31日（土）

クロスパルにいがた

- ・内容：災害時の外国人支援についての導入講義
災害多言語支援センターの設置・運営にかかるワークショップ

合同シミュレーション（地震が発生した、という想定のもと、避難住民役の外国人に対し、通訳ボランティアとともに避難所巡回、情報提供等実施）、ふり返り

- ・講師：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
- ・参加者：自治体職員、市町村地域国際交流協会・大学・社会福祉協議会職員、災害ボランティアネットワーク等 37名
※避難住民役の外国人、災害時通訳ボランティア研修参加者含め、計 77名が合同シミュレーションに参加



ワークショップ



合同シミュレーション

②災害時外国人支援体制構築検討会

ア 第1回検討会

- ・期日及び会場：7月31日（金） 万代島ビル6階 会議室
- ・内容：新潟県が目指すべき災害時外国人支援体制について、新潟県地域防災計画震災対策編に基づき、県・市町村・協会の役割を整理
- ・アドバイザー：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
(財)柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏
- ・参加者：県・市町村職員等 26名

イ 第2回検討会

- ・期日及び会場：1月13日（水） 万代島ビル6階 会議室

- ・内容：他縣市町村の災害時多言語支援体制づくりの事例紹介
事例発表者とアドバイザー、参加市町村の意見交換
- ・講師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋 伸行 氏
- ・アドバイザー：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
(財)柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏
- ・参加者：県・市町村職員等 24 名

Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 2,987,547 円

12. 広報ライブラリー運営事業 967,682 円

県内団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や当協会の事業等について情報を提供した。

(1) PR記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」掲載（年2回）

(2) 年次報告書発行

平成20年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

(3) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成22年3月末現在）

- ・図書 3,075 冊
- ・各種団体発行物
(財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等
- ・ビデオ 533 本、DVD 45 本、CD 134 本、CD-ROM 8 本
開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等
- ・雑誌 36 誌
- ・新聞 日本語 2 紙（新潟日報、日経）
外国語 4 紙（イブニング、ジャパントゥデイ、人民日報、東亜日報）
- ・その他の資料 県内外のNGO、全国の国際交流協会機関誌
語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

- ・図書 4 冊、CD 1 枚

13. I T活用促進事業 749,209円

平成19年度に改訂したホームページの機能を生かし、情報提供の充実を図った。

- ・協会ニュース、県内外イベントの他に「注目情報」コーナーをつくり、比較的長期間の周知が必要な内容等を掲載できるようにした。
- ・交流揭示版の掲載項目を、ホームページトップから閲覧できるようにした。

14. 賛助会員募集 46,358円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末
個人	80	60	48	31	28
団体	78	74	74	71	69
計	158	134	122	102	97

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 16件) (県立近代美術館割引券利用件数 4件)
団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (43件) ・国際化推進活動支援助成金の交付 (29団体、総額 3,021,200円) ・印刷機・紙折機の利用
個人・団体 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書 (4冊)、CD (1枚) ふれあい地球人ボックス (4件)、国旗 (43件) の貸出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供

15. 国旗等貸出 17,535円

国際交流活動を行う賛助会員や諸団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス (民族衣装、グッズなど) の貸出しを行った。

貸出実績：国旗 31団体・77件、地球人ボックス 22団体等・25件

16. 国際化連絡会議開催事業費 231,492 円

下越、中越地区において、市町村・民間団体等と情報・意見交換を行う会議を開催した。

○下越会場

- ・期日及び会場：4月23日（木） 朱鷺メッセ中会議室
- ・参加団体・人数：38団体、52名

○中越会場

- ・期日及び会場：4月22日（水） ホテルニューオータニ長岡
- ・参加団体・人数：19団体、25名

17. 国際交流・協力団体に関する調査事業 975,271 円

厚生労働省の緊急雇用創出事業により、新潟県からの委託を受け、県内国際交流団体及び人材派情報について、調査を行った。

- ・調査対象 324先
- ・回答先数 245先
- ・成果物
 - 「国際理解・交流等に関する人材派遣事業一覧」
 - 「国際交流・協力団体活動参考事例集」
 - 「県内国際交流・協力団体情報」